# 事業評価シート (平成27年度分)

#### 1. 事業の位置付け

1. 事未必应追问()				
事務事業名	金融相談事業			
事業担当	産業振興部 産業振興課			
事業種類	○ハード ●ソフト			
<b>公人共両の</b>	'04   基本目標4   活力とにぎわいに満ち	らたまち		
総合計画の 位置付け	'01 ①〈持続可能〉 産業の発展を持続させる			
位置1717	'02   2 産業の経営基盤を強化する			
根拠法令等	平塚市中小企業等融資制度要綱ほか			
対象•受益者	融資を受けようとする中小企業等	事業期間	~ 平成27年度	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 〇N	PO その他	】【協働:湘南経営支援パートナーズ】	
	目的·目標		事業の概要	
金融相談を通し、す。	中小企業者の経営の健全化が図られていま		宮の安定と振興を図るため、各種融資制度の 目談業務を行います。	

#### 2. 事業の検証

2. 事業の検				
活動指標①	指標名	「金融のしおり」発行部数		単位 部
	説明·算定式			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標	3,000	3,000	3,000
	実績	2,700	2,500	2,950
	指標名			単位
活動指標②	説明·算定式			
泊到招标区		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標			
	実績			
	指標名	融資相談件数		単位件
<b>学用长振</b> ①	説明·算定式			
成果指標①		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標	500	500	500
	実績	448	303	376
	指標名			単位
成果指標②	説明·算定式			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	目標			
	実績			
	1 : 3	予定どおり		
進捗状況	遅れてし	いる理由		
平成27年度	の主な取組	と成果		
金融総合案	内窓口を設置	 『し、融資を受けようとする中小企業	業者等に対して、各種申請の補助を	することで利用者の利便性を

金融総合案内窓口を設置し、融資を受けようとする中小企業者等に対して、各種申請の補助をすることで利用者の利便性を図るとともに、国・県・市等の融資制度についての情報やアドバイスを得られる環境を整えました。

平成27年度	B:おおむね成果があがった
の検証結果	

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事	必要性	■事業目的の達成状況	融資相談を希望する事業者は多い一方、総合的に相談できる窓口は少なく、ニーズは多いです。また、国のセーフティネット保証制度に関する相談も多く、認定権者である市が関与する必要性は高いです。	● 高
業	<del></del>	■ 市民満足度を高める方策 □ 継続による成果向上の可能性 □ その他	融資相談のほか、申請書類記入のアドバイス等も行っており、融資や認定を受けようとする利用者の満足度は高いと 考えられます。	● 高 〇 低
分 析	妥当性		事業者の資金調達に関する相談のほか、新創業に関する相談も受付けており、総合案内窓口としての妥当性は高いです。	高中低
	効率性	ロュスと地域の可能性	税理士、中小企業診断士、金融アドバイザーなどで構成するNPO法人との協働により行っている事業であり、効率性は高いです。	○高中
	今後に向I —	けた課題の分析		
ı				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

	(2011)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		決算額	決算額	決算額
	事業内容	相談窓口の開設と金融のしおり の作成・配布	相談窓口の開設と金融のしおり の作成・配布	相談窓口の開設と金融のしおり の作成・配布
	国庫支出金	0	0	0
財	県支出金	0	0	0
源内	起債	0	0	0
訳	その他 特財	0	0	0
	一般財源	3,532	3,669	2,913
	事業費(A)	3,532	3,669	2,913
	執行率(%)	74.81	80.96	69.27

### 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針	
_	
課長コメント	
_	